

常滑市学校給食共同調理場整備基本構想(案)のパブリックコメント結果

- ・募集期間：令和2年3月23日(月)～4月17日(金)
- ・市民周知：市ホームページ、広報とこなめ4月号に掲載
- ・資料閲覧：市ホームページ、市役所、公民館（青海・中央・南陵）、図書館  
 ※公民館・図書館は期間中、新型コロナウイルスによる休館措置あり
- ・提出方法：郵送、FAX、メールまたは持参
- ・意見総数：2名及び1団体（6件）

No.	意見の概要	市の考え方
1	・自校式に転換してほしい。無理なら中学校区にひとつほしい。	市内にある小中学校及び幼保こども園 25施設に今から自校式を導入することは、敷地確保や設備投資、調理員確保、統一的な衛生管理体制などの点から非常に困難です。 また、効率的、安定的な運営のために2つの調理場をひとつに統合するものであり、中学校区ごとに整備することは考えていません。
2	・外部委託などにより工事日程の調整を行えば、現施設の改修も可能ではないか。	衛生管理基準への準拠やアレルギー対応を進めるためには、延べ床面積の拡大が必須となります。 また、既存の2施設の建物耐震化や老朽設備の更新には多額の費用がかかります。 既存2施設の改修よりも統合により建設コストを抑え、かつ効率的な運用を図ることが給食の安定的な供給に寄与すると考えています。
3	・災害発生時にエネルギー供給が止まることのないよう、LPガス導入の検討をしてほしい。	災害時に耐える施設、炊き出し等ができる施設となるよう、費用対効果も考慮しつつ、どのようなエネルギー源が有効か検討を進めていきます。
4	・整備後 40～50 年使うとすれば、技術革新や生活環境の変化を先取りし、陳腐化させない設備や工夫が必要である。	長期的視点に立ち、安全安心を担保しながら、できるだけ効率的で、かつ食育や環境に配慮できるよう検討していきます。
5	・工事決定の際には土地の履歴調査や土壌分析を行い、公正な入札などを心掛けてほしい。	事業実施の際は、法令等を遵守し必要な手続きを進めていきます。

6	<p>・給食従事者内での感染者発生時のリスク分散や時間差給食など、コロナウイルス対策に取り組んでほしい。</p>	<p>毎日、従事者の健康チェックを実施し、手洗い、うがい、マスクの着用を徹底しており、職員が感染した場合等の対応基準も定めています。</p> <p>なお、施設整備にあたっては、リスクを極力排除できるような設備の導入を検討していきます。</p>
---	--	---

※基本構想は原案どおりとし、頂いた意見については今後事業を進めていく上で参考とさせていただきます。